

Keyword:「プラスチック」「エコバック」「デザイン」「地球温暖化」「コンビニエンスストア」

### 1.はじめに

現代社会の中でプラスチックはあらゆるところで使われている物質である。一方で、海洋プラスチック問題についてという記事では、「今、世界の海に存在するプラスチックゴミは、合計で1億5000万トンあるという側面もある。この大量のプラスチックゴミは海の生態系に甚大な影響を与えている。例えば魚類、海鳥、アザラシ、ウミガメなどの生物が漁網などに絡まったり、ポリ袋を餌と間違えて摂取したりする。」とある。

また、大量のプラスチックを消費し燃焼することにより二酸化炭素が排出され、地球温暖化が進む。私はこのようなプラスチックが原因で起こっている問題があるということを知り、興味を持ち、探究を始めた。

### 2.序論

「1950年、年間数200万トンだった世界のプラスチック生産量は、2015年では、4億700万トンにまで膨れ上がっている。」(インフォビジュアル研究所「図形でわかる 14歳からのプラスチックと環境問題」太田出版 2019)この本の筆者は、私たちがプラスチックを多く必要とし、使用する事によって生産量はますます増え、その分消費量も増えていくのだと述べている。このことから、プラスチックを使う量を減らせば消費される量も減ると考え、高校生の私にできる範囲でプラスチック削減を行なっていこうと考えた。そこで、会社ではプラスチック削減のためにどのような取り組みをしているのか興味を持ち調べた。

### 3.本論

マクドナルド、スターバックス、無印良品の3つの会社の対策をあげる。マクドナルドではスプーンやフォークやナイフ、ストローなどのコンディメントを木製に変え、無印良品ではプラスチックパックを紙製に変更したことが分かった。スターバックスではプラスチックカップから樹脂製のグラスに変更された。洗って使い回しすることができ、一定のグラスの量でサイクルをまわすことができるのだ。だがこのような会社全体で取り組む対策を行うことは、高校生の私には困難である。そこで私は、高校生の私たちがよく利用するコンビニエンスストアのレジ袋に着目した。高校生がコンビニエンスストアに行く頻度とレジ袋購入の有無について調べようと考え、国際高等学校の高校三年生を対象にアンケート調査を実施した。アンケート調査の結果、1週間に1~3回、コンビニエンスストアに行く人は76.9%いた。また、1週間に4回以上行く人は23.1%いた。そしてレジ袋を買う人は13.7%おり、買わない人は86.3%いることが分かった。

この調査の結果からほとんどの人が1週間に1回以上コンビニエンスストアに行っていること、レジ袋を買う人はとても少ないことが分かった。そうすると、レジ袋を買わない人達は商品を買った後、どこに収納しているのかという疑問を抱いた。そこで私はエコバックがあるということに気がついた。そしてもう一度、アンケート調査を実施した。質問内容は、エコバックを持っているか、また、そこで「はい」と答えた人に対してどのぐらいの頻度でエコバックを使用しているのか、「いいえ」と答えた人に対しては、なぜ持っていないのかを聞いた。アンケート調査の結果、「はい」と答えた人は63.2%であった。「はい」と答えた人の中で「たまに使用している」、「使用していない」と答えた人は合わせて48%であった。「いいえ」と答えた人は36.8%いた。そこで「たまに使用している」、「使用していない」そして「いいえ」と答えた人に、なぜ使用していないのか、持っていないのかを聞いた。すると、「持っていくの忘れる」や「ほかのカバンがある」、「デザインがダサイ」や「気に入ったデザインのものがないから」などの意見が多くあった。

これらの意見から、私は「デザインがダサイ」、「気に入ったデザインのものがないから」という意見に焦点を当てた。「気に入ったデザインがない」ということは、自分好みではないということである。エコバックは沢山売られているが、その中から自分好みのものを探し出すのも少し時間もかかるし、めんどくさいと考えた。なので私は、「自分自身でエコバックを作ってみる」のはどうだろうかと考えた。しかし、時間が足りず、「自分自身でエコバックをデザインし作ってみる」というのは実行することが出来なかった。

#### 4. 結論

私はプラスチックが原因で起こっている問題があるということを知り、興味を持ち、探究を始めた。プラスチックの生産量が1950年から2015年の65年間で4億500万トン増加した。生産量が増加すると、消費量も比例して増加すると考え、消費量が減少したら生産量も減少すると考えた。なのでまず様々な会社でプラスチック削減のためにどのような取り組みをしているのかを調べた。調べた結果、色々な会社がプラスチック製のストローやスプーン、フォーク、カップなどを紙製のものに変換していることが分かった。しかしこのような膨大なことは高校生の私には出来ないと考え、私は高校生が多く通うコンビニエンスストアのレジ袋に着目し、探究を行った。そしてレジ袋、エコバックについてのアンケートを国際高等学校の高校三年生を対象に実施した。

アンケート調査をいくつか行った結果、私が想像していたより多くの方がエコバックを持っていることが分かった。しかしエコバックを持っているが、たまにしか使っていない人や使っていない人が約50%おり、その理由をアンケート調査した結果、「持っていくのを忘れる」や「ほかのカバンがある」、「デザインがダサイ」や「気に入ったデザインのものがないから」などの意見が多くあった。それらの意見を踏まえ、私は「自分自身でエコバックをデザインし作ってみる」ことを思いついた。だが、時間が足らず、実行に移すことが出来なかった。

この失敗を踏まえ、今回は時間配分をしっかりと、計画と順序建てを行い、探究に取り組もうと考えた。

#### 5. 参考文献

(「今、世界で起きている「海洋プラスチックの問題」」WWFジャパン「海洋プラスチックについて」)  
<https://www.wwf.or.jp/activities/basicinfo/3776.html>